

2012年6月期

決算説明会

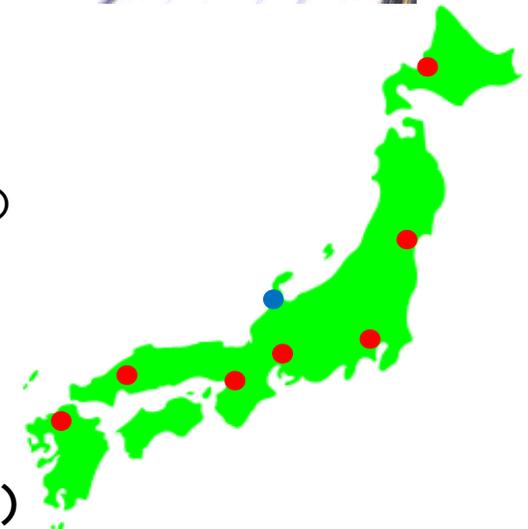
株式会社アイ・オー・データ機器

2012年8月23日

会社概要

- 設立 1976年1月10日
- 代表者 代表取締役社長 細野 昭雄
- 所在地 石川県金沢市
- 資本金 35億8,807万円
- 年商 385億円(2012年6月期 連結)
- 従業員数 576人(2012年6月末現在 連結)
- 事業内容 PC周辺機器全般の開発、製造、販売
- 事業所 東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、広島、福岡
- 子会社
【台湾】国際艾歐資訊股イ分有限公司
【香港】艾歐資訊横山(香港)有限公司
【USA】I-O DATA America, Inc.
【日本】ITGマーケティング株式会社(※2012年6月期に新設)
- 関連会社
【シンガポール】I-O & YT Pte. Ltd.
【日本】株式会社デジオン
【日本】クリエイティブ・メディア株式会社
- 上場 大阪証券取引所ジャスダック市場(証券コード:6916)

石川県金沢市 本社



補足：ITGマーケティング株式会社 会社概要

2012年3月に、当社取引先の株式会社トーメンデバイスとの合併会社として設立。
サムスン電子社製SSD(フラッシュメモリを用いた記憶装置)の国内販売を通して、
次世代PCであるUltrabook等、今後急成長が見込まれる新市場分野での付加価値創造を
リードしてまいります。

- 商号 ITGマーケティング株式会社
- 設立 2012年3月9日
- 代表者 代表取締役社長 田中 道郎
- 所在地 東京都港区芝公園一丁目1番11号 興和芝公園ビル
- 資本金 8,100万円
- 決算期 6月
- 出資比率 株式会社アイ・オー・データ機器 61.11%
株式会社トーメンデバイス 38.89%
- 事業内容 電子部品および電子機器の販売
- 取扱商材 サムスン「SSD830シリーズ」(計11製品)



ITGMARKETING



2012年6月期 損益計算書

(単位:百万円)

	2011年6月期 金額 (構成比)	2012年6月期 金額 (構成比)	前年同期比較 増減額 (増減率)	主な増減要因
売上高	45,344	38,551	▲6,793 (▲15.0%)	・パソコン周辺分野の低迷と、TV関連需要の失速、ハードディスクドライブの供給不足が重なる。
売上総利益	6,642 (14.6%)	6,480 (16.8%)	▲162 (▲2.4%)	・ハードディスクドライブの価格持ち直しや、付加価値製品の増収、経費節減の取組みが奏功し、減収による影響を吸収。
販売費及び一般管理費	6,624 (14.6%)	6,263 (16.2%)	▲361 (▲5.4%)	・主に減収に伴う物流費、製品保証引当金等の変動費の減少。
営業利益 (▲損失)	18 (0.0%)	217 (0.6%)	199 (1,105.6%)	
営業外収益	217	280	63	・為替差損益の改善。 (前期 為替差損▲482、 当期 為替差益31を計上)
営業外費用	664	130	▲534	
経常利益 (▲損失)	▲429 (▲0.9%)	368 (1.0%)	797 (—)	
特別利益	133	0	▲133	・前期は貸倒引当金戻入額(60)、退職給付制度終了益(73)を計上。
特別損失	24	86	62	・当期は株式相場の変動による投資有価証券評価損(86)を計上。
当期純利益 (▲損失)	▲601 (▲1.3%)	364 (0.9%)	965 (—)	

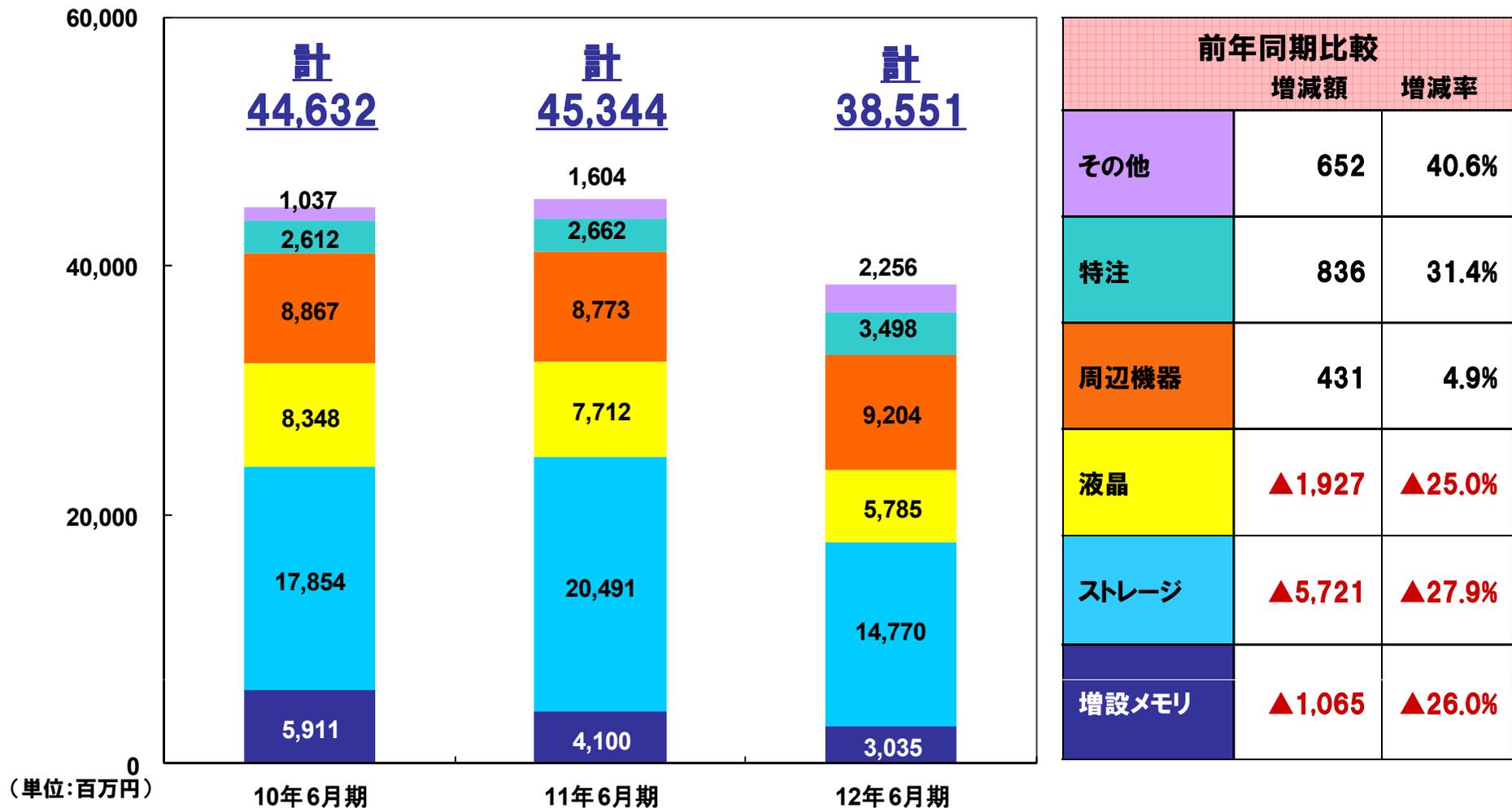
2012年6月期 損益計算書(四半期別推移)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
売上高	9,196	10,643	10,200	8,512	38,551
売上総利益 (粗利率)	1,508 (16.4%)	2,495 (23.4%)	1,688 (16.5%)	789 (9.3%)	6,480 (16.8%)
販売費及び 一般管理費 (販管比率)	1,499 (16.3%)	1,825 (17.1%)	1,557 (15.3%)	1,382 (16.2%)	6,263 (16.2%)
営業利益 (▲損失)	9	670	130	▲593	217
営業外収益 (▲損失)	98	108	▲28	102	280
営業外費用	31	35	35	29	130
経常利益 (▲損失)	75	743	67	▲520	368
特別利益	0	0	0	0	0
特別損失	0	81	▲15	20	86
当期純利益 (▲損失)	38	725	86	▲488	364

部門別 売上高

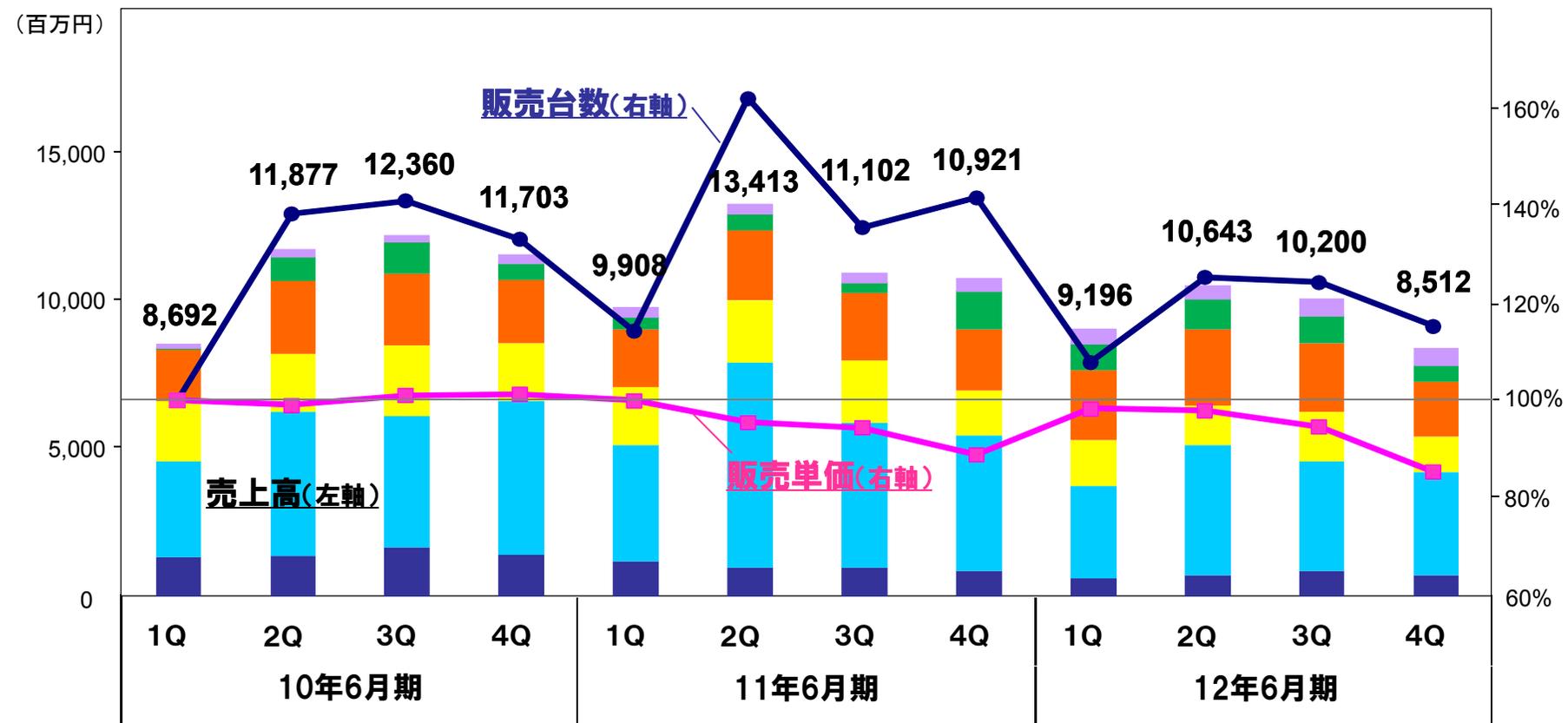
◆PC周辺分野の需要低迷に加え、TV関連需要の失速、タイの洪水被害による世界的なハードディスクドライブの不足が重なり、主力分野のストレージ、液晶、メモリ分野が大きく落ち込む。
一方で、スマートフォンやホームネットワークの普及を背景に、周辺機器、特注分野は増収。
また、電子部品や自社ラインナップを補完する他社商品の販売からなる、その他の分野も増収。



売上高 四半期推移

[売上高]

[全体台数・単価の増減推移※]



※10年6月期第1四半期を100%とする

2012年6月期 貸借対照表

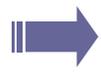
(単位:百万円)

	2011年 6月期末	2012年 6月期末	前年同期 比較	主な増減要因
(資産の部)				
流動資産	19,561	18,232	▲ 1,329	
現金及び預金	6,147	5,119	▲ 1,028	・主に下記要因による営業CFの減少。
受取手形及び売掛金	7,288	6,324	▲ 964	・減収による影響。
たな卸資産	5,458	6,111	653	・たな卸資産の増加。
その他の流動資産	666	675	9	
固定資産	6,470	6,524	54	
資産合計	26,032	24,757	▲ 1,275	
(負債の部)				
流動負債	7,859	6,245	▲ 1,614	
支払手形及び買掛金	5,835	4,098	▲ 1,737	・減収および生産調整に伴う減少。
短期借入金	-	1,000	1,000	
未払法人税等	62	65	3	
その他の流動負債	1,960	1,081	▲ 879	・同上の理由による外注先等への債務の減少等。
固定負債	1,018	745	▲ 273	
負債合計	8,877	6,990	▲ 1,887	
(純資産の部)				
株主資本合計	17,772	18,070	298	・当期純利益の計上(364)、剰余金の
その他の包括利益累計額合計	▲ 762	▲ 485	277	配当(▲66)。
少数株主持分	143	181	38	
純資産合計	17,154	17,766	612	
負債純資産合計	26,032	24,757	▲ 1,275	

部門別の概況

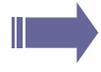
増設メモリ部門

メモリ



パソコンの初期搭載容量の増加による増設需要の低迷とDRAM価格の低下が進む。

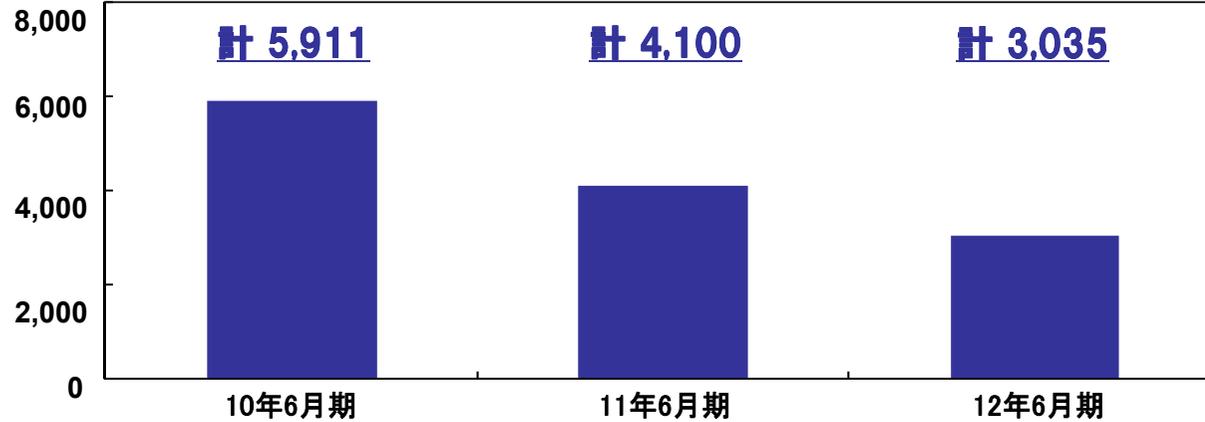
メモリカード
USBメモリ



低価格化が進む中、SDカードの拡販とUSB3.0対応等USBメモリのラインナップ強化により、売上高は前年同水準を維持。

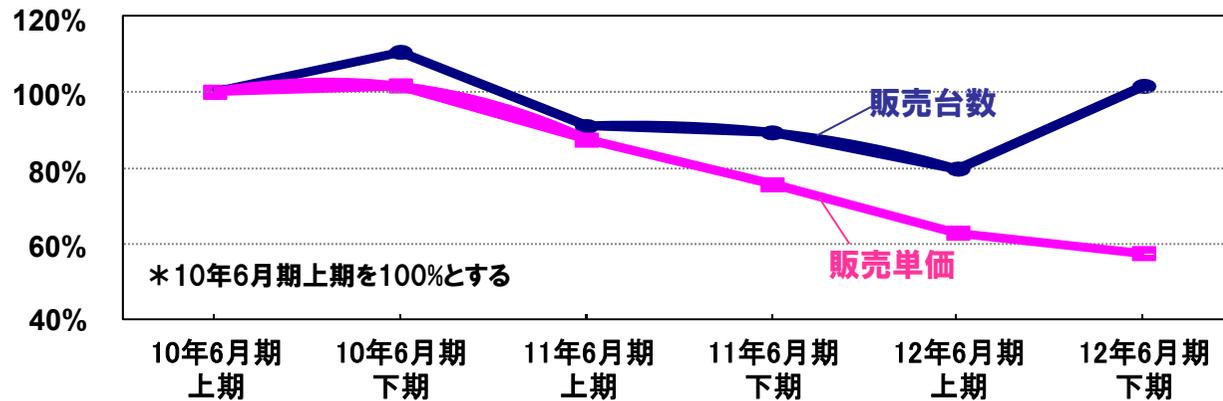


[売上高] (単位:百万円)



前年同期比較		
	増減額	増減率
増設メモリ	▲1,065	▲26.0%

[当部門全体の台数・単価の増減推移*]



前年同期比較	
増減率	
販売台数	0.6%
販売単価	▲26.4%

※11年6月期(通期)との比較

ストレージ部門

HDD

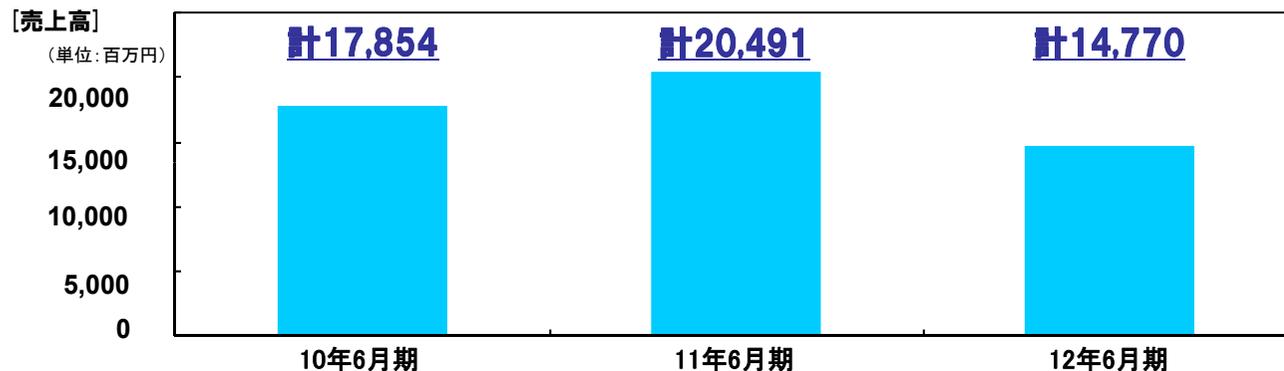


TV関連需要の失速とタイの洪水影響により大幅な減収に。

DVD・BD

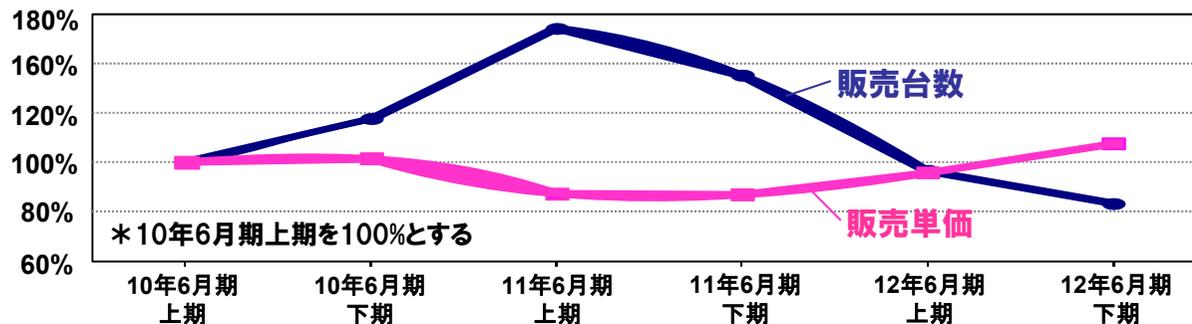


販売台数、販売単価ともに前期を下回る。



前年同期比較		
	増減額	増減率
ストレージ	▲5,721	▲27.9%

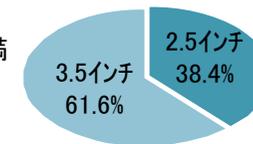
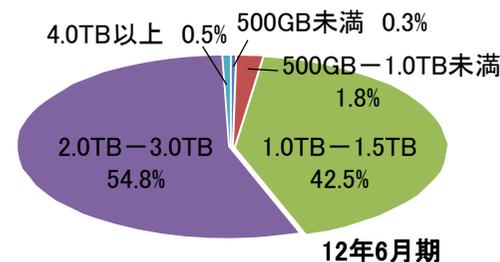
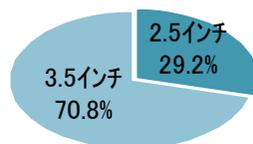
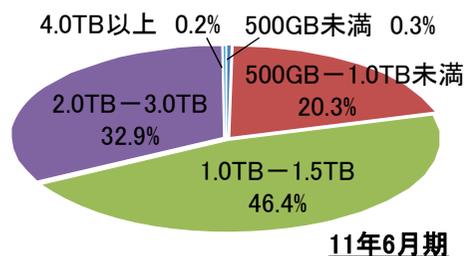
[当部門全体の台数・単価の増減推移*]



前年同期比較	
	増減率
販売台数	▲38.0%
販売単価	16.3%

※11年6月期(通期)との比較

[外付HDDの販売台数 インチ内訳・容量(3.5インチのみ)内訳]



液晶部門

美解像
Neo Clear Resolution

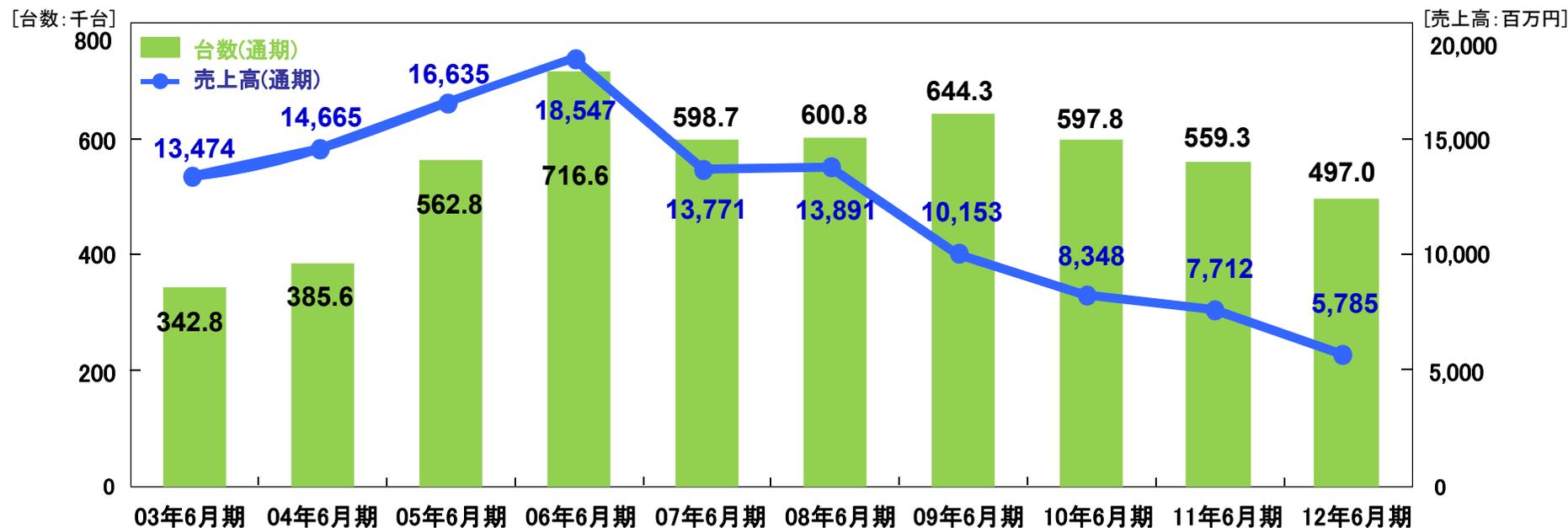


LCD-MF274XBR

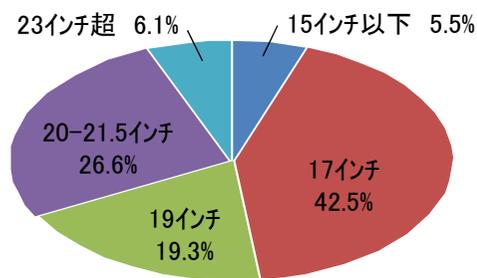
液晶ディスプレイ



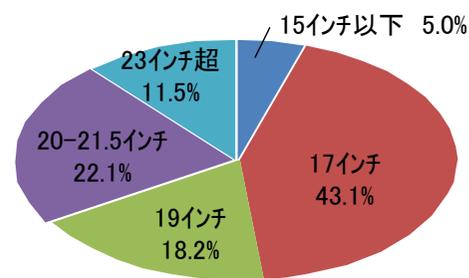
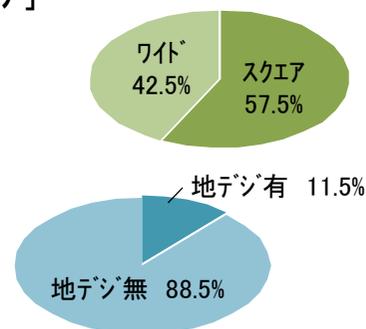
LEDバックライト搭載の低消費電力モデルや、超解像技術を搭載した新シリーズの展開を強化したものの、昨年のエコポイントや地デジ移行需要を捉え伸ばした地デジチューナー搭載モデルの減収が響く。



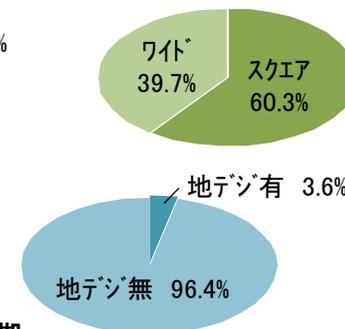
[サイズ・型別・仕様(地デジ有無)別台数シェア]



11年6月期



12年6月期



周辺機器部門



映像関連部門で
BCN AWARD 2012
最優秀賞受賞

マルチメディア・
AVeL (デジタル家電関連)



普及するスマートフォンやタブレット端末向けに、TVチューナー製品の新提案を積極展開しましたが、移行需要の一巡によるTV・PC増設用の地デジチューナーの減収が響き、売上高は前期を下回る。



ネットワーク・通信

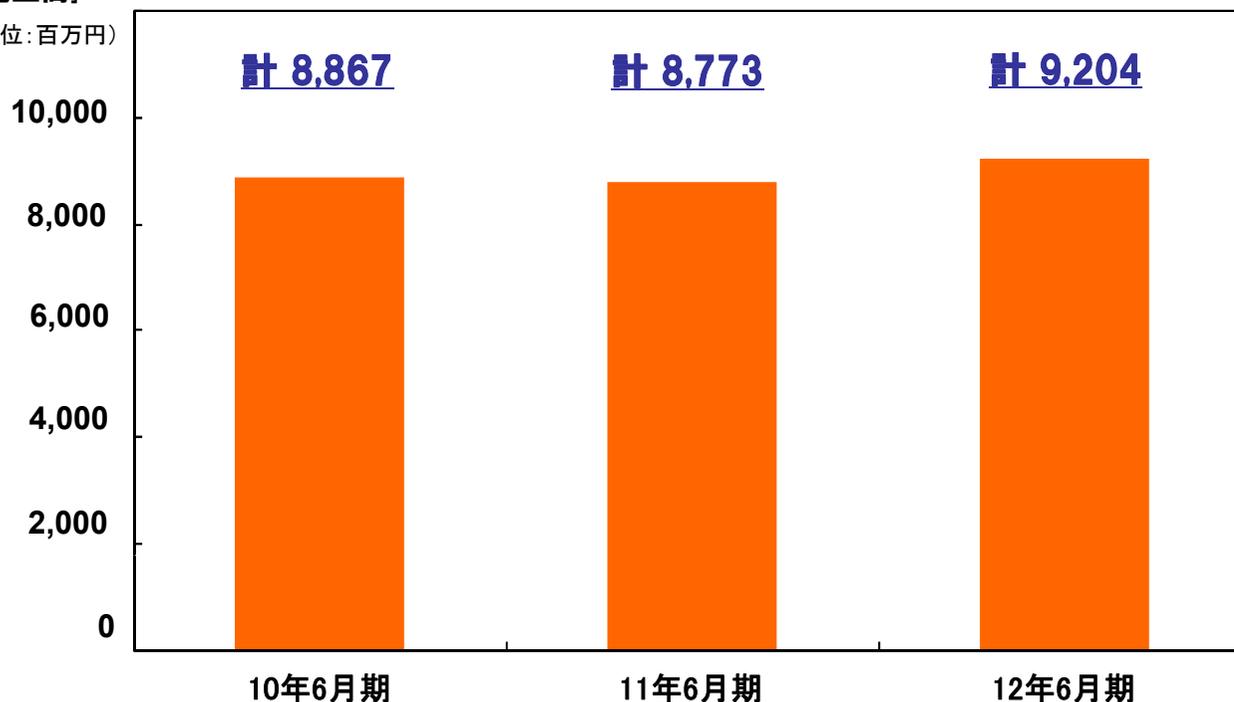


スマートフォンとの接続連携を中心に無線LAN製品が伸長。また、法人向けにデータ保全、個人向けに外出先からのリモートアクセス機能を中心に提案と拡販を強化したNASが増収。



[売上高]

(単位: 百万円)



前年同期比較		
	増減額	増減率
周辺機器	▲431	4.9%

2013年6月期の業績見通し

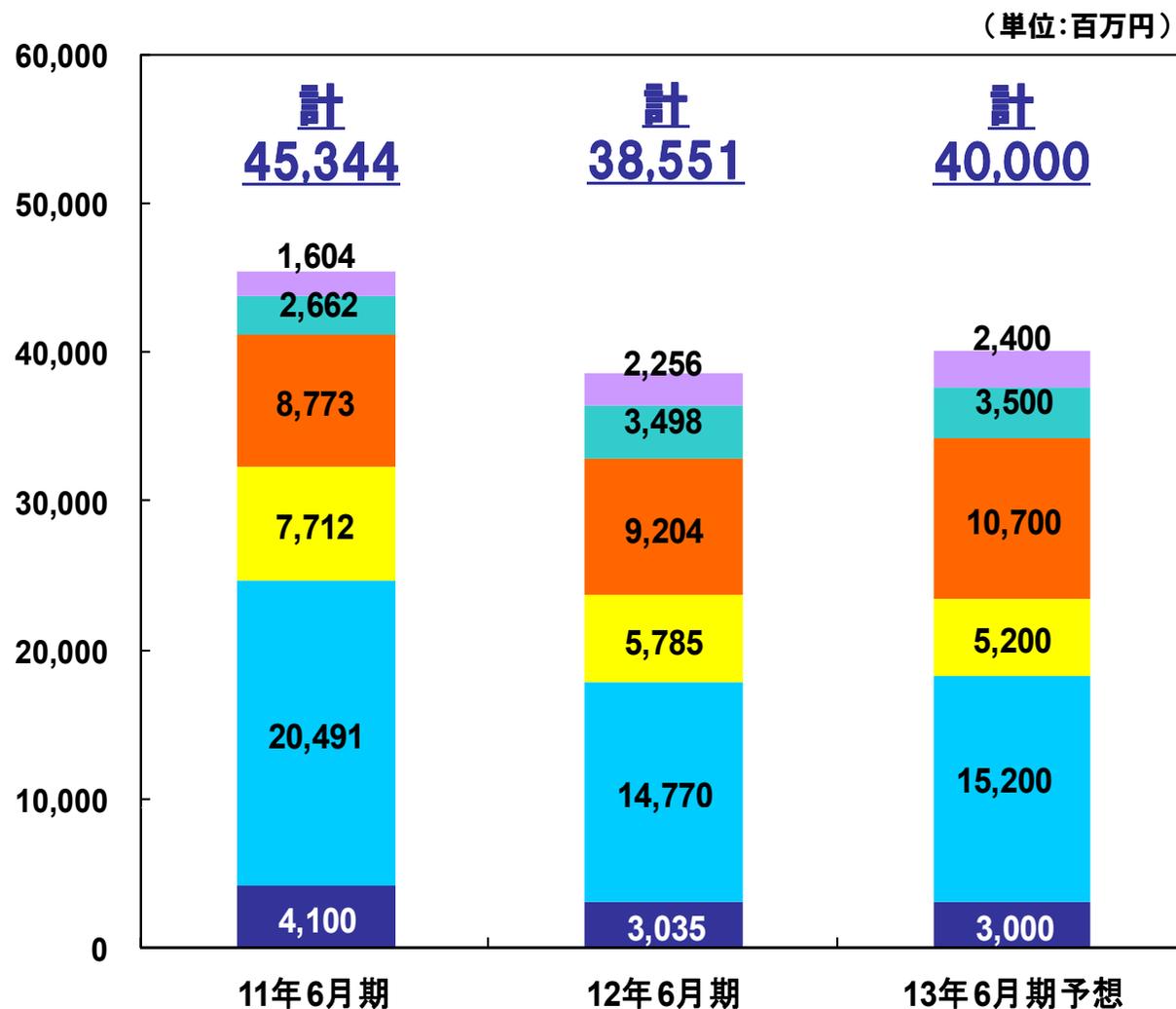
2013年6月期 損益計算書(予想)

(単位:百万円)

	2012年6月期 金額 (構成比)	2013年6月期 金額 (構成比)	前年同期比較 増減額 (増減率)	主な増減要因
売上高	38,551	40,000	1,449 (3.8%)	・TVや、パソコン分野の低迷基調が続く中、スマートフォン周辺分野や法人向けのNAS関連ソリューションを中心に需要創造を積極的に進める想定。
売上総利益	6,480 (16.8%)	6,500 (16.3%)	20 (0.3%)	・製品ミックスの改善と原価低減により、前期第4四半期の採算性の悪化基調を上期中に改善。
販売費及び一般管理費	6,263 (16.2%)	6,300 (15.8%)	37 (0.6%)	・総額は前年同期水準を維持し成長事業の確立、競争力強化に向けた研究開発費等に傾斜配分。
営業利益	217 (0.6%)	200 (0.5%)	▲17 (▲7.8%)	
経常利益	368 (1.0%)	300 (0.8%)	▲68 (－)	・営業外収益、営業外費用については、定常発生額のみを想定。
当期純利益	364 (0.9%)	200 (0.5%)	▲164 (－)	・特別利益・費用は見込まず。税金費用と少数株主利益にて計100を見込む。

- ・為替レートの想定 : 1ドル79円
- ・研究開発費の予想 : 1,000百万円 (前年同期比 +26百万円)
- ・設備投資の予想 : 250百万円 (前年同期比 +110百万円)
- ・減価償却費の予想 : 250百万円 (前年同期比 -26百万円)

2013年6月期 部門別売上高(予想)



前年同期比較		
	増減額	増減率
その他	144	6.4%
特注	2	0.1%
周辺機器	1,496	16.3%
液晶	▲585	▲10.1%
ストレージ	430	2.9%
増設メモリ	▲35	▲1.2%

2013年6月期の展開

市場の開拓・深耕と製品展開

これまでのPCやTV市場を基盤に、拡大を続けるスマートフォン市場にも参入。
デバイスの垣根を超える製品で市場における優位性を狙います。



リモートアクセス ～いつでも・どこでも“つながる”～

スマホも パソコンも
コレ1台で使える!!

Android
iPhone / iPad
2台以上のパソコンで同時につかえる!

LAN DISK HYBRID C LAN接続ハードディスク **HDL-CE** シリーズ

スコイ 外出先から拠点のハードディスクのファイルが利用できる!

外出先からいつでもアクセス

拠点

外出先

手元がない資料は研究室や職員室など拠点へアクセス!

研究レポート
大学制度におけるFD研究と今後の課題

iPhone iPad Android

月々の利用料も不要。自分だけの大容量クラウドストレージ

さまざまなドキュメントファイルや動画や音楽などに対応

PowerPoint Word Excel PDF 写真 動画 音楽

PowerPoint, Word, Excel などを閲覧可能です。

写真はスライドショーにして再生したりそのままFacebookにアップロードも可能。

スコイ こんなシーンにおすすめ!

資料を呼び出してその場でプレゼン



重たい写真や動画はハードディスクに送ってスマートフォンを軽く



聴きたいと思ったときにお気に入りの曲を聴ける



対応アプリ



iPhone/iPad 専用アプリ
リモートリンク2
iOS 4.2以降対応

Android 専用アプリ
リモートリンク2
Android 2.0以降対応

個人向けNAS スマートフォン対応モデル

(iPhone/Android対応モデル)



HDL-CEシリーズ



超高速モデル

専用アプリなし
ブラウザからアクセス

HDL-A(H)シリーズ



超高速モデル

専用アプリなし
ブラウザからアクセス

HDL2-A(H)シリーズ

WiFiでTV/HDDを持ち歩く ～スマホをもっと便利に～

WiFi TV

iPadで地デジ
iPhone/iPad/PCで地デジTVが見られる

Wi-Fi TV I-DATA
テレキングmobile

地デジチューナー搭載 高速無線LANルーター
WN-G300TVGR

家の中にあるiPad/iPhone/iPod touch/PCが
レイアウトフリーの地デジTVに!



TVのない書斎



キッチン



お風呂
(別途防水対策が必要です)

※複数台同時に視聴することはできません
※ご家庭のテレビアンテナ線をつないで、ご利用ください
※iPad/iPhone/iPod touchに「テレキングmobile」をダウンロードする必要があります
※配信に適した解像度に変換されて配信されます
※フリックによるチャンネル切替は行えません

WiFi HDD

スマホ用 Wi-Fi HDD

動画 音楽 写真
Wi-Fiでスムーズ再生

Wi-Fi対応ポータブルハードディスク
WNHD-U シリーズ

給電できる

(iPhone/iPad/iPod touch/Android対応)

スマホとWiFi接続することで、ネット環境がない
場所でも大量のコンテンツを気軽に楽しめる!



動画や写真、音楽を
友達と楽しむ
(一度に3台までアクセス可能)

TV録画用HDDの豊富なバリエーション

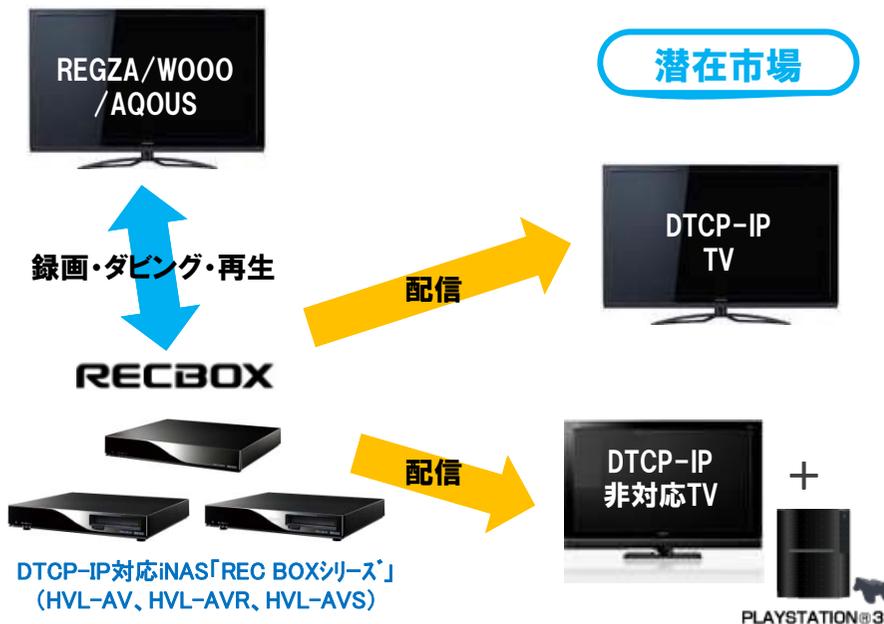
USB HDDとの1:1のかんたん録画

顕在市場



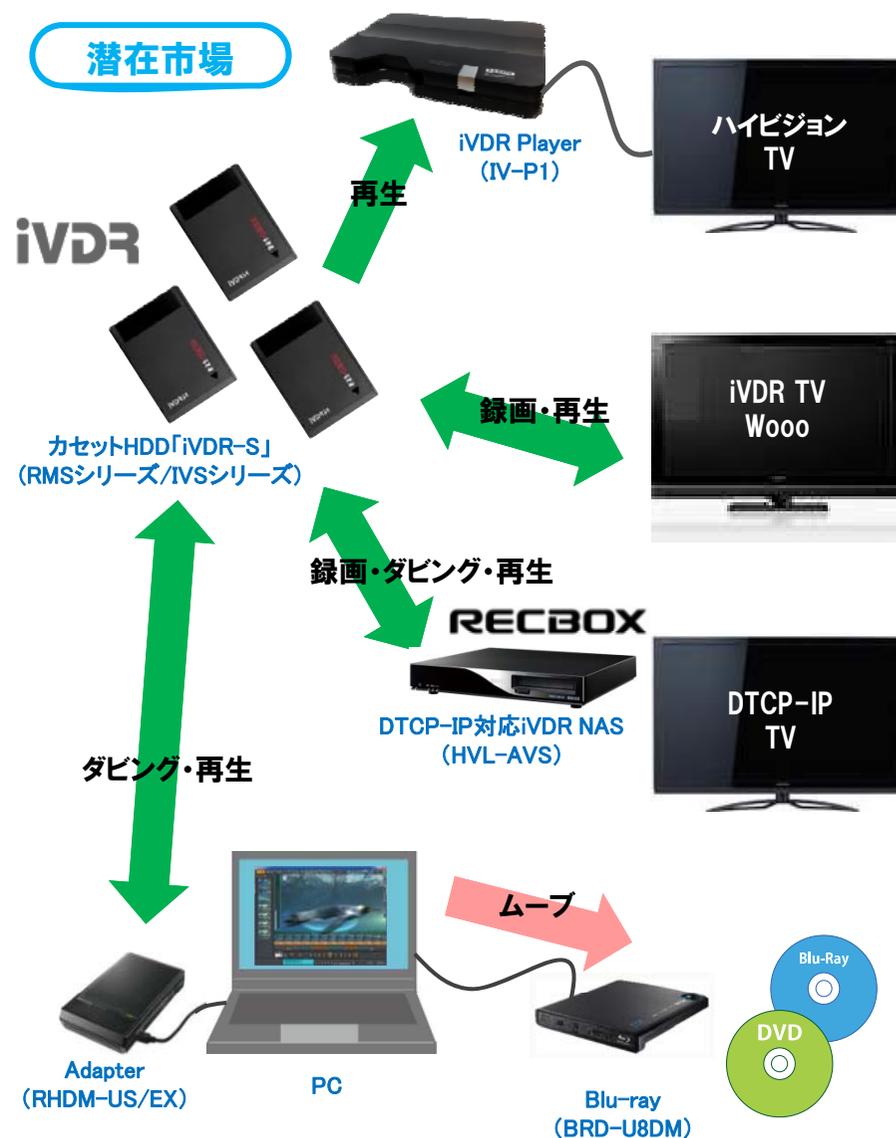
DTCP-IP対応NASで各部屋のTVとコンテンツ共有

潜在市場



カセットメディアiVDRで縦横無尽にコンテンツ移動

潜在市場



クラウド時代における「データ保全」の必要性

増大するデータ損失リスクに対し、当社ではNASを基軸とした低コストかつ効率的なデータ保全ソリューションを提案しております。



①法人向けNASラインナップの拡充

法人向けNASラインナップに、新たにWSS搭載ラックマウントモデルを投入。
エントリーからハイエンドまで幅広い製品を展開することで、オフィス規模を問わずバックアップ業務に適用可能。



②各種サービス・ソフトウェアとの連携強化

保守サービス(ISS)に加え、仮想化ソフトVVAULTやクラウド状態管理サービスNarSuS、各社UPS(無停電電源装置)に対応、不測の事態における対応力を強化。
また、一部製品ではクラウドストレージサービスDropboxにも対応し、NASとクラウドの連携でファイル共有がますます便利に。



《新登場》小規模オフィス向け オールインワンモデル

オフィスのIT環境に必要な機能をすべて網羅し
高いユーザビリティと導入後の即稼働を実現。
お客様のビジネスを強力にご支援します。

WHS搭載オールインワンモデル
「HDL-Z2WHシリーズ」



簡単導入・管理を実現

ファイル管理の問題を一挙に解決！
社内の「情報共有力」を強くする！

Windows Home Server 2011 の
「ダッシュボード」で
ファイル管理が自由自在

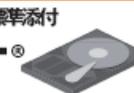


ストレージの仮想化で
既存の資産を無駄にしない！

ストレージ仮想化ソフトが標準添付



VAULT®



「VAULT」付属

Windows Home Server 2011

Windows Home Server 2011搭載

バックアップソフト添付

クライアント PC の丸ごとバックアップで
「障害対応力」を強くする！

高機能なイメージ
バックアップソフト
標準添付



109-パソコン分



外出先から社内のファイルにリモートアクセス
社外での「プレゼン・商談力」を強くする！

外出先から PC やスマートフォンで
社内のファイルにアクセスできる
リモートアクセスに標準対応



《新対応》人気サービス「Dropbox」との連携



効率的にデータ共有することで
ビジネスに新たな**利便性**を提供

対応モデル:HDL-XRシリーズ、HDL-XR1.0/2D、HDL-XR2Uシリーズ

LANDISK Dropbox (※) 連携機能を使えば・・・

※Dropboxとは、複数のコンピュータ間でデータの共有や同期を可能とするクラウドストレージサービスです。



①外出先からPCやスマートフォンを利用して LANDISK内のデータが参照できる

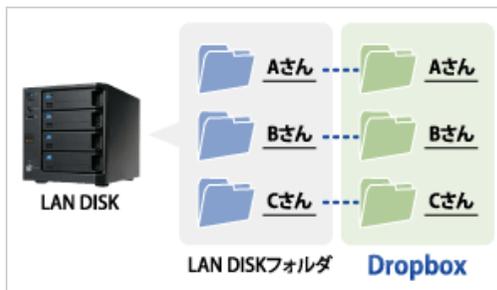
Dropboxで共有すれば、時間・場所を問わず、PC/スマホ/iPadからLANDISKのデータを参照できる。ビジネスでのデータ共有をもっと便利に、効率化することが可能！

②バックアップツールとしても利用可能



過去1ヶ月分の変更履歴を保管。データを破損しても、過去フォルダから復元できる！

③複数のDropboxアカウントを設定可能



担当者ごとにフォルダ分けでき、1台のLANDISKを複数部署で効率的に利用できる！

④複数拠点へフォルダを自動同期



1つのDropboxアカウントに設定することで、複数のLANDISKを自動同期できる！

本資料お取り扱い上のご注意

1. 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
2. 本資料中の業績予想ならびに将来予測に関する記述は、当社が資料作成時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済情勢の変動や予測不可能な不確定要因の影響を受けます。従って、実際の業績は本資料中の予想に関する記述とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
3. 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。



更なる成長を目指し、挑戦を続けてまいります。
どうぞ、ご期待下さい。

<http://www.iodata.jp>